

最後のひと葉 オー＝ヘンリー 作 有吉玉青 訳

ワシントン・スクエア西の界限。芸術家村（コロニー）に住む画家の卵ジョンジーとスウ。突然襲った肺炎に、ジョンジーはすっかり生きる気をなくしてしまう。ベッドの窓から見える蕨の葉が落ちると同時に、自分の生命も終わると気弱になって残っている葉の数をかぞえる日々。この二人の娘を見守る画家のベアマン。いつか傑作を書いてやるが口癖で、この世界では落伍者。彼が、嵐の夜に描いたのは一世一代の傑作だった。

○朗読の会「声の宅配便」

演出 増田恭子／水越光永  
出演 下笠栄津子／増田恭子／大西栄子／木村文子／司馬ユキ／久保サヨ子／今西たよこ  
鈴木光代／辻貴美子  
音楽 河崎初美／水越光永  
制作 河崎初美／中垣内文代

鬼盗夜ばなし 平岩弓枝 作

都大路を杖を頼りに歩く老婆。国守の目に止まり、都に上った利発な一人息子茨木が、渡辺源次綱に殺されたという知らせを受け取り、半信半疑で津の国の片田舎より出てきたのである。老婆は鬼が出るという安義橋で盗っ人の頭目である遠助に出会い、彼らの住処に連れて行かれる。遠助は茨木が源次綱に片腕を斬られて死んだと告げる。怒りに震える老婆はその腕を取り返し、仕返しをしたいと遠助に迫る。老婆と遠助の胸に浮かんだ、そのためのある策とは……

○朗読 GEN

原案 姉川明子  
構成・演出 秋山多佳  
出演 秋山多佳／田中章恵／垣内浩子／辻本由美／清水光恵／太田淑子／木村幸子

生きる 谷川俊太郎 作

○参加者全員 / 群読

日時 2006年3月25日(土)

開演13時半～

開場は開演の30分前

会場 應典院

入場料 無料(入場券が必要です)

参加者 朗読GEN

朗読の会「声の宅配便」

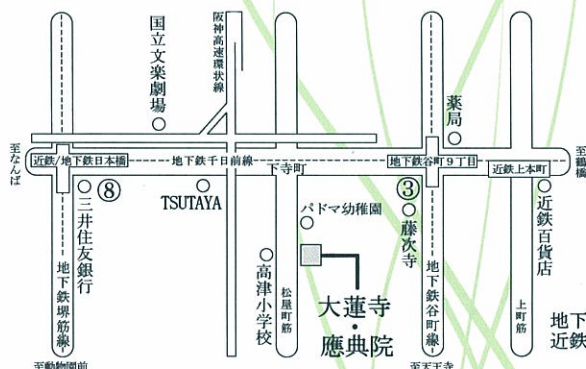
会場に集まって下さった皆様

照明 加藤直子

音響 西角秀紀

舞台監督 堀田誠

制作 丹原祐子



お願い

※ご入場には入場券が必要になります

お問い合わせ TEL・FAX 0797-32-5455 姉川

地下鉄谷町線「谷町9丁目」③番出口より西へ徒歩8分  
近鉄/地下鉄堺筋線「日本橋」⑧番出口より東へ徒歩7分